

こころの健康づくりだより

三重県こころの健康センター（自殺対策推進センター）にて自殺対策事業の一環として県民公開講座を開催いたします。ぜひご参加ください。



日時	12月1日（日）13時30分～15時30分
会場	三重県庁講堂（津市広明町13番地）
内容	講演 青年期の家族問題について～親子のやりとりから紐解く～ 講師 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授 狐塚 貴博 氏
対象	三重県民
定員	250名（先着順。定員を超えた場合はお断りをさせていただくことがあります）
申込方法	URLまたは二次元コードよりお申込みください URL： https://logoform.jp/form/8vMX/689337
申込期限	11月29日（金）16時
主催	三重県
問い合わせ	三重県こころの健康センター 技術指導課 TEL：059-223-5243



11月11日～17日は全国糖尿病週間 糖尿病の重症化予防にむけて

朝日町では公益社団法人四日市医師会のご協力を得て、健診の奨励や糖尿病の重症化予防に向けた医療機関への受診勧奨等をおこなっております。

今回は健診でご質問が多いHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）についてお伝えします。



四日市医師会
糖尿病対策委員会
担当理事
医師 吉田康史さん

なぜ違う？ HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

今回は、健診のHbA1cと医療機関でのHbA1cの違いについて話します。

皆さんは、医療機関では6.2%まで正常とされているのに、健診では5.6%から軽度異常として扱われ 6.0%以上は再検査 6.5%以上は精密検査とされています。

明らかに基準が異なっているように見受けられるのは何故でしょう？

それは健診が早期に病気を発見することを目的としているからです。

HbA1cの検査としての正常値（96%の病気のない人が収まる範囲）は4.6～6.2%とされています。

一方 耐糖能検査（糖尿病の詳しい検査）で糖尿病と診断された人たちのHbA1cは6.5%以上 糖尿病の診断はつけられなかったが正常群の中に入らない境界型糖尿病の人たちは5.6～6.4%と統計上わかっています。（将来5.6～5.9%の人は3割、6.0～6.4%の人は5割が糖尿病になるとされています）

糖尿病に関係する人たちは全体の1割程度ではありますが、これらの人を見つける為に健診では基準値を変更して扱っているのです。

従って健診でHbA1cが5.6～5.9%であった人は次年度以降に悪化していないことの確認をする。又 6.0～6.4%の人は耐糖能検査を受け、自身の今の状態を確認するように努めてください。